

教員プロフィール

平成 30年 4月 19日

日本医療科学大学

所属学科・専攻	保健医療学部	リハビリテーション学科	理学療法学専攻
ふりがな 氏名	なかむら そうた 中村 壮大	職 位	助教
学 位	修士(保健医療学)国際医療福祉大学大学院、博士(保健医療学)国際医療福祉大学大学院		
資 格	理学療法士		
略 歴	学位・学歴 城西医療技術専門学校卒業 国際医療福祉大学大学院修士(保健医療学) 国際医療福祉大学大学院博士(保健医療学) 職歴 リハビリテーション中伊豆温泉病院(2006) 国際医療福祉大学小田原保健医療学部理学療法学科 助教(2012) 国際医療福祉大学成田保健医療学部理学療法学科 助教(2017) 日本医療科学大学リハビリテーション学科理学療法学専攻 助教(2018)		
担当講義	機能能力診断学実習Ⅱ、小児中枢神経系疾患理学療法学、内部疾患系理学療法学、理学療法演習		
専門分野	小児中枢神経系疾患理学療法学、機能能力診断学		
研究テーマ	肩関節の運動機能 超音波診断装置を用いた研究		
主要業績	・中村壮大,勝平純司,黒澤和生,他:肩関節外転角度変化と重錘負荷の有無が棘上筋厚に与える影響(理学療法科学 2013) ・中村壮大, 勝平純司, 村木孝行,他:若年者と高齢者における肩甲上腕リズムの比較(理学療法科学 2016) ・中村壮大,山田千鶴子,矢谷令子,他:「PT・OT・ST教育カグレードアップ講座」におけるアンケート調査報告(リハビリテーション研究 2015) ・中村壮大,右田正澄,黒澤和生,他:理学療法学科1年生の職業観の変化(リハビリテーション研究 2016) ・Gender Difference in Supraspinatus Muscle Thickness(International Congress of Shoulder and Elbow Therapists 2013) ・Effect of Aging on Scapula Dynamics during Shoulder Abduction: a Three-Dimensional Analysis(International congress shoulder and elbow therapists 2016) ・日本学術振興会科学研究費補助金 若手(B): 疾患の有無による肩関節運動への影響について—体幹装具による介入効果の検証—(研究代表者)		
所属学会	日本理学療法士協会、日本徒手理学療法学会、日本リハビリテーション・カウンセリング研究会、理学療法科学学会		
社会活動等	「教育カグレードアップ講座」を開催し、教員教育に取り組んでいます。		
在学生に一言	人と人とのつながりを大切にし、ともに成長しましょう！		
受験生に一言	理学療法士は本当に素晴らしい仕事です！ともに学び、将来はグローバルに活躍できるよう自己研鑽しましょう！！		